

発表・コメント

4つの班、それぞれ参加者の方(各班1名又は2名)がグループワークの成果について発表されました。限られた時間の中で、簡潔かつ的確に、時にはユーモアを交えての話に、みんなが聞き入りました。

今回のワークショップでは、まち歩きを通して、また、日ごろお気づきのことから、この地区にある数多くの資源や問題点などをあげていただきました。加えて、知らなかったこと、気づかなかったことなどを含め、参加者が情報を共有し、相互の交流・つながりづくりにも役立ったのではと、発表会からも感じることができました。



A班



B班



C班



D班

<アドバイザー・オブザーバー>

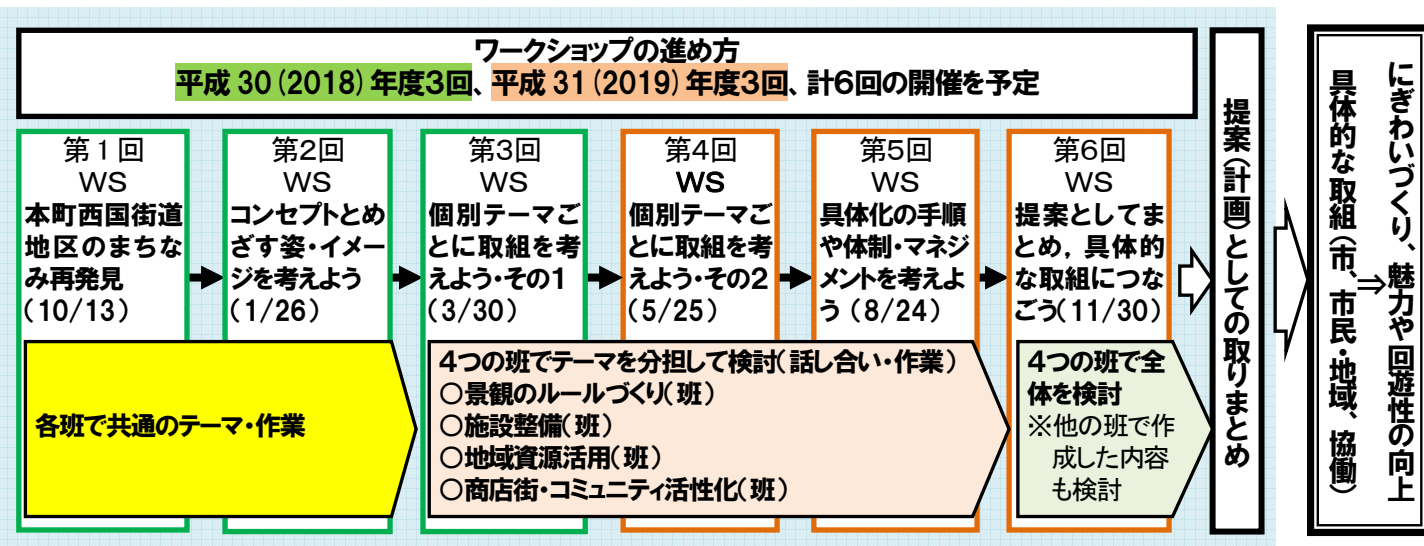
吉田 倫子 先生 (県立広島大学保健福祉学部講師)

今日の体験を踏まえ、周りの人にも、まちの資源や課題、必要な取組などを聞いていただき、次回の意見に反映させていただければと思っています。

滝口 隆久 氏 (株式会社まちづくり三原 統括マネージャー)

ワークショップを通じて、住民の方々が歴史文化に誇りを持っていること、そして人の良さ、人材の豊かさを感じることができました。こうしたことを大切に、50年先もみて、まちの活性化などについて考えていければと思っています。

【ワークショップの予定とその展開】



問い合わせ・連絡先

〒723-0015 三原市円一町二丁目3番4号

三原市 都市部 都市開発課 担当：奥広、西村

電話：(0848) 67-6113 FAX：(0848) 64-6057

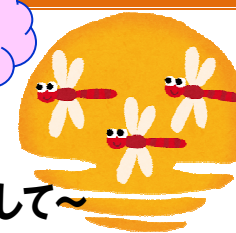
E-mail：toshikaihatsu@city.mihara.hiroshima.jp

～まちなみづくり(まちづくり)に関わるご意見なども、お寄せください～



本町西国街道地区 まちなみづくり通信

第1号



～『にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上』をめざして～

平成30年(2018)10月 発行：三原市都市部都市開発課

本町西国街道地区において、にぎわいのある街道の再生、地区の魅力や回遊性の向上(地区の魅力づくりと活性化)をめざし、住民参加によるワークショップ(6回を予定)を行います。

ワークショップでの意見・提案をもとに、三原市として取り組むこと(公共施設の整備など)を検討するとともに、住民・事業者等の皆さんによるまちづくりの取組を促進します。

第1回ワークショップは10月13日(土)に開催しました。

今回のワークショップでは、3つのコースに分かれて地区のまち歩き(現地調査)を行い、その後、4つの班に分かれ、参加者が地区の様々なもの・ことを再発見し、それらを共有するため、「特色・魅力(資源)」、「問題点、留意点」について話し合い、その成果を発表しました。

第1回ワークショップのプログラム等(要点)

日時：平成30年10月13日(土) 13:30～17:10 会場：サン・シープラザ 4階 第1研修室
参加者：住民・関係団体の皆さん16人、アドバイザー1人、オブザーバー1人、広島県2人、三原市10人、進行役4人、報道機関2人

はじめに

- あいさつ・開催趣旨
- ワークショップの全体の流れ
- まち歩きのポイントなど(アドバイザー、オブザーバーのコメント)

まち歩き～3つのコース(西・中央・東)に分かれて～

西コース



中央コース



東コース



グループワーク：特色・魅力、問題点などの検討～班(A～D)ごと～

それぞれの班で、特色・魅力(資源)、問題点・心配な点などの検討

A班



B班



C班



D班



全体会

- 班ごとの発表 ⇒次々頁をご覧ください。
- アドバイザー、オブザーバーのコメント
- 終了

まち歩き～3つのコース(西・中央・東)に分かれて～

西コース

このコースで最初に歩いた本町通り商店街(旧西国街道)には、江戸後期の建物が幾つか残り、明治から昭和初期の建物が多数あります。また、電柱や街灯は、景観上の問題がある一方で、車から歩行者を守っていること、建物の軒に車(トラック等)が接触しないようにしていることも体験しました。

コースやその周辺には、魚屋小路、宗光寺小路、鍵型小路、香積寺小路などの歴史的な道、数々の寺社、眺望点、江戸時代の石組水路、近代化遺産、桜や梅の名所などもあります。実際に歩いてみると、あまり活用されていないものがあることにも気づきました。



宗光寺小路

中央コース

このコースには妙正寺坂、阿房坂、大島神社参道などの坂道が多くあります。

妙正寺坂の周辺には、成就寺とその境内にある淡島神社、サクラの名所である本町中央公園があり、市街地や瀬戸内海の絶好の眺望ポイントもあります。なお、淡島神社は女性の守り神で半どん夜市の発祥の地ということです。

阿房坂は妙正寺坂、大島神社参道、宗光寺小路をつなぐ趣のある道で、その中央付近から登る大島神社参道は、連続する朱色の鳥居(所々、色落ちあり)が印象的で、眺望を楽しむことができます。



歴史のある町家

東コース

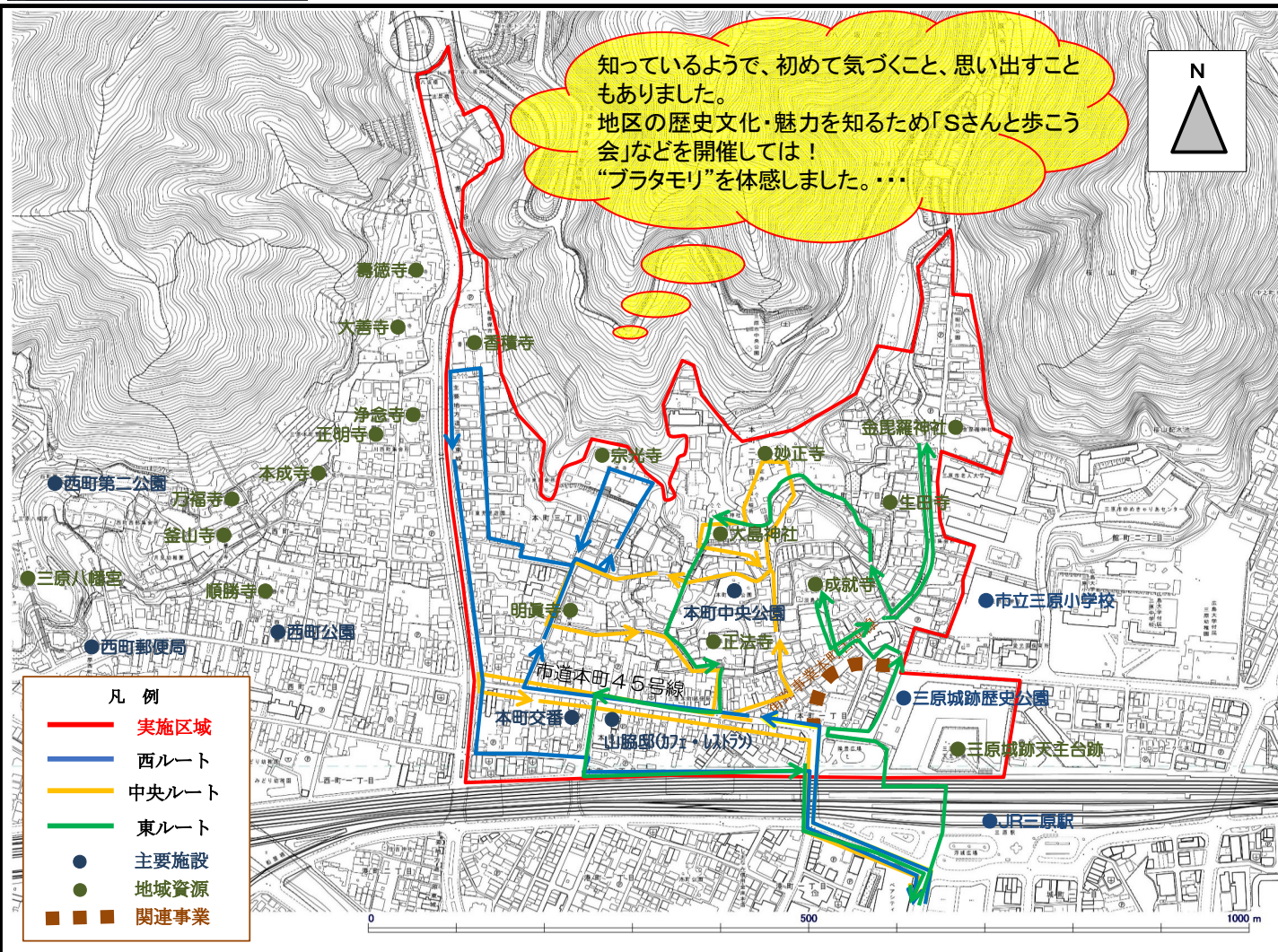
このコースでは、三原城跡歴史公園を右手に見ながら、斜面地の市街地に入りました。そこには多数の寺社(成就寺・淡島神社、生田寺、妙正寺、大島神社、正法寺)があり、参道や小路、歴史的な建物、河原谷川と橋、眺望ポイントなども確認することができました。

他のコースを含め、こうした資源の中から、古くて味のある建物や道、絶好の眺望ポイントを選び、“本町三景(または八景)”などとして活用することなどを、歩きながらイメージすることができました。

あっという間に、まち歩き的时间が過ぎました(他も同様)。



大島神社参道



4つの班でグループワーク～特色・魅力、問題点など～

まち歩きの後、4つの班(各班に3つのコース参加者がいます)に分かれ、地区の特色・魅力(資源)、問題点などを話し合い、下の写真のように各班、2枚のマップを作成しました。今後、まち歩きでの(再)発見などを含め、今回の成果をまとめて「資源マップ」「問題点・留意点マップ」を作成する予定です。

ここでは、地区の全体的な特色、今後の取組の留意点や課題を中心に内容を整理(一部紹介)します。

<特色・魅力(資源)>

<問題点・心配な点、留意点>

A班

- 絶好の眺望点のあるまち(確保・改善)
- 電柱・街灯、道路のあり方(整備・改善)
- 歴史的な建物の保存・活用
- サインの整備・改善
- 城跡の活用不足
- 資源を活かす取組(活動)など



B班

- 市内随一の寺の多いまち(その活用)
- 旧西国街道と小路(風情のあるまち)
- 歴史・ストーリー性
- 案内・PR
- 人口・建物対策
- にぎわい再生
- まちを語る人の育成など



C班

- 歴史的な町家・まちなみが息づくまち
- 海・城跡・市街地の景観
- 梅・藤・桜の名所
- 空き家・空き地対策
- 市道本町45号線の整備と景観づくり
- 鳥居の色の補修
- 坂と小路 など



D班

- まちの人が元気・仲がよい
- 歴史や物語(紹介)
- 歴史的な建物と風情のある通り・坂道
- 災害時の不安・対策
- 中央公園の再整備
- 城跡一帯の環境整備
- 通りの統一感づくり、道路の改善など

